

## 令和5年度 市営住宅指定管理者 収支報告書（指定管理業務会計）

## 収入

(単位：円)

項目	協定額(A)	決算額(B)	A-B	説明
新潟市からの指定管理料	262,665,000	256,424,375	△ 6,240,625	
自主事業収入	14,531	14,531	0	
収入合計	262,679,531	256,438,906	△ 6,240,625	

## 支出

(単位：円)

項目	協定額(A)	決算額(B)	A-B	説明
人件費				
職員人件費	30,922,800	30,922,800	0	
小計①	30,922,800	30,922,800	0	
保守点検費				
エレベーター保守管理	15,412,320	15,412,320	0	
消防設備保守管理	5,626,951	5,626,951	0	
貯水槽保守管理	3,810,420	3,804,809	△ 5,611	清掃時の水道料の差額
飲料水水質検査・簡易専用水道検査	647,460	647,460	0	
増圧ポンプ設備定期点検	313,500	313,500	0	
消火器取替	361,460	353,190	△ 8,270	本数減62本→61本
特殊建築物定期調査報告	2,161,500	2,161,500	0	
共有部分電盤点検	757,900	757,900	0	
緊急通報システム	3,887,510	3,887,510	0	
屋上防水調査及び報告書作成業務	2,094,400	2,094,400	0	
防火設備定期調査業務	237,160	237,160	0	
給水設備保守点検	4,697,550	4,697,550	0	
小計②	40,008,131	39,994,250	△ 13,881	
事務費				
消耗品等計	1,821,100	1,846,737	25,637	
消耗品	310,000	230,638	△ 79,362	
備品購入費	180,000	228,936	48,936	屋外作業のために発電機を購入
印刷製本費	618,000	566,140	△ 51,860	
燃料費	683,100	802,039	118,939	燃料費高騰及び地震災害対応等による業務増加
雑費	30,000	18,984	△ 11,016	
光熱水費	0	0	0	事務所借り上げ料に含む
役員費等計	3,175,000	2,978,823	△ 196,177	
切手	932,400	879,578	△ 52,822	出来るだけ巡回等の際に投函
電話・ファクシミリ通信料	453,600	373,037	△ 80,563	光回線へ変更
携帯電話通話料	180,000	194,368	14,368	
コールセンター	858,000	858,000	0	
自動車保険料	105,000	51,170	△ 53,830	前年 82,780
個人情報保険料	166,000	141,730	△ 24,270	前年 139,050
施設賠償責任保険料	480,000	480,940	940	前年 471,460
使用料・賃借料等計	5,005,400	5,438,615	433,215	
事務所借り上げ料	3,102,760	3,556,680	453,920	光熱水費を含む家賃の値上げによる
駐車場借り上げ料	468,000	468,000	0	
車両リース	1,035,480	1,024,939	△ 10,541	
パソコンリース	292,400	291,914	△ 486	
事務機器リース	76,760	74,883	△ 1,877	
旅費交通費（バス・タクシー代）	30,000	22,199	△ 7,801	
本社経費計	5,893,100	5,902,120	9,020	
本社経費	5,893,100	5,893,100	0	
免税事業者消費税負担分		9,020	9,020	
小計③	15,894,600	16,166,295	271,695	
修繕工事費				
修繕工事費	61,720,000	68,498,424	6,778,424	
空家修繕工事費	59,920,000	52,882,614	△ 7,037,386	
震災増額工事費	54,214,000	47,974,523	△ 6,239,477	
震災内訳				
①災害一時入居用（工事）	20,000,000	20,592,485	592,485	
①災害一時入居用（備品）	24,214,000	20,592,110	△ 3,621,890	
②公営住宅災害復旧事業	10,000,000	6,789,928	△ 3,210,072	
小計④	175,854,000	169,355,561	△ 6,498,439	
支出合計（①+②+③+④）	262,679,531	256,438,906	△ 6,240,625	

## 総括・評価

光熱水費の高騰に伴い、事務所借り上げ料の値上げまた燃料費の高騰、さらに備品（発電機）購入により、予算を大幅に超える科目があった。逆に消耗品や印刷製本費の節約意識、通信費の削減のための工夫などはじめ多くの科目で予算を下回ることが出来た。

通常の緊急及び空家修繕については、年明けの空家修繕で予定していた分が震災増額工事になったため、その分を緊急修繕として使用した。